

[報道資料]

2026年3月3日

CP コンクリートコンソーシアムと日野市が連携協定を締結し、

「西平山あそびば」と豊田駅前に CP コンクリートを施工

～CO<sub>2</sub>を吸収・固定する環境配慮型コンクリートで気候変動対策を推進～

CP コンクリートコンソーシアム (CPCC) (注1) と日野市 (東京都) は、地域社会の持続可能性を高めるための気候変動対策として連携協定を締結し、2026年4月にオープン予定の日野市の「西平山あそびば」において、CPCCが開発に取り組んでいる二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を吸収・固定する CP コンクリート (注2) を使用して、ベンチの製作や、スロープおよび駐車場の舗装を行いました。また、豊田駅前のバスベイにおいて、CP コンクリートを使って製造したプレキャスト鉄筋コンクリート版 (PRC 版) の施工を行いました。この取り組みは、実際に CP コンクリートを地域で使用することにより、社会実装の推進を目的としています。



「西平山あそびば」に施工した CP コンクリート製ベンチとスロープ



豊田駅前バスベイに施工した CP コンクリート製 PRC 版

## 1. 取り組みの背景

近年、環境意識の高まりとともに持続可能なインフラ整備が求められています。CPCC では、建設現場で発生する余剰コンクリート（戻りコンクリート）や解体時に排出されるコンクリートガラなど、従来は廃棄物として扱われていた材料に CO<sub>2</sub> を固定して再利用する技術として、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）グリーンイノベーション基金事業の採択を受け、CP コンクリートの開発に取り組んでいます。一方、日野市は「気候非常事態宣言」を発出し、2050 年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ「カーボンニュートラルシティ HINO」<sup>(注3)</sup> を目指す一環として、この技術の社会実証の連携実施を決定しました。今回の連携により、両者は地域で CP コンクリートを活用し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進します。

## 2. 取り組みの概要と CPCC 各社の担当役割

今回の取り組みは、CPCC が各専門分野の知見を活かして推進している CP コンクリートプロジェクトの象徴的な案件です。

これまで CPCC では、CO<sub>2</sub> を固定した CP コンクリート製の構造物を事前に工場で作成し、現場に運搬して設置していました。しかし、今回の試験施工では CP コンクリート製のベンチを現場で打設した後、さらに CO<sub>2</sub> を CP コンクリートに現場で固定する作業を国内で初めて実施しました。今回施工したベンチやスロープ、舗装に固定した CO<sub>2</sub> 量は、今後測定・検証し、日本国温室効果ガスインベントリ報告<sup>(注4)</sup> への反映に向けてデータを提供します。

CPCC における担当役割は以下のとおりです。

企業・団体	担当役割
株式会社安藤・間	「西平山あそびば」で CP コンクリート製のベンチを打設し、養生時にも CO <sub>2</sub> を固定する作業を実施
株式会社佐藤渡辺	「西平山あそびば」のスロープ・駐車場に、透水性を

	有し、降雨時の路面滞水を防ぐ機能を持った、CP 透水性ポーラスコンクリートを施工
大成ロテック株式会社	豊田駅前バスベイに、強度・耐久性・急速施工に特化した PRC 版を施工
株式会社内山アドバンス（グループ工場）	全ての施工における CP 生コンクリートの製造
株式会社内山アドバンス、 大阪兵庫生コンクリート工業組合	コンクリートの材料となる CP 骨材の製造
青木あすなる建設株式会社、 株式会社浅沼組	ベンチの養生時に CO <sub>2</sub> を固定できる生コンの配合や養生工法の検討

今後も CPCC と日野市は、気候変動対策を進めるため、引き続き協力を重ねてまいります。



左：「西平山あそびば」に CP コンクリート製ベンチを打設する様子

右：「西平山あそびば」に打設した CP コンクリート製ベンチに CO<sub>2</sub> を固定する様子



左：「西平山あそびば」のスロープに CP 透水性ポーラスコンクリートを施工する様子  
右：豊田駅前バスベイに施工するため、CP コンクリートを使って製造した PRC 版

(注1) CP コンクリートコンソーシアムホームページ：<https://carbon-pool.com/>  
CP コンクリート You Tube チャンネル：<https://www.youtube.com/@carbon-pool>

(注2) CP コンクリートは、“Carbon Pool Concrete”の略で、セメント焼成工程などで発生する CO<sub>2</sub>をコンクリート由来の産業廃棄物に固定化し、コンクリート材料として再利用する地域内循環を構築します。この新技術により、CO<sub>2</sub>の吸収と固定を最大・最速に実現し、カーボンネガティブを目指します。

CP コンクリートの開発はNEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）によるグリーンイノベーション基金事業「CO<sub>2</sub>を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト」の委託事業として実施しています。

(注3) 日野市は「気候非常事態宣言」を発出後「気候変動対策施策ロードマップ」を策定し、令和32年（2050年）カーボンニュートラルを目指しています。

<https://www.city.hino.lg.jp/kurashi/kankyo/co2/1027572.html>

(注4) 一定期間内に特定の物質がどの排出源・吸収源からどの程度排出・吸収されたかを示す一覧表のこと。

<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/ghg-mrv/overview.html>

日野市 公式ウェブサイト

<https://www.city.hino.lg.jp/>

#### **【本件に関するお問い合わせ先】**

**CP コンクリートコンソーシアム**

担当者名：白岩

電話番号：080-1273-3868

Eメール：[shiraiwa.seishi@ad-hzm.co.jp](mailto:shiraiwa.seishi@ad-hzm.co.jp)

**日野市 まちづくり部 区画整理課 計画係**

担当者名：好見

電話番号：042-514-8395（直通）

Eメール：[kukaku1@city.hino.lg.jp](mailto:kukaku1@city.hino.lg.jp)